

昭和村社会福祉協議会昭和の里
地域密着型通所介護事業運営推進会議 報告書

日 時	令和7年9月30日（火） 10：30～11：10
場 所	昭和村総合福祉センター 生活指導室
出席者	構成員：兵藤みきえ(利用者)、吉澤博通（利用者の家族）、 須田善子(民生委員児童委員)、 鈴木彰(村健康福祉課介護保険担当)、 野田勝也（(株)野田コミュニティケア代表） 事業者：新木敬司(会長)、落合邦江(事務局長)、佐藤智昭(管理者)
内 容	1. 開会 2. 挨拶 昭和村社会福祉協議会 新木会長 3. 協議題 ・令和6年度活動状況の報告及び評価 (1) 事業所概要説明及び令和6年度活動状況の報告(資料の通り) 補足説明として、前回の運営推進会議にて温泉センターの売店での買い物については希望を聞いて職員が買ってくるのではなく、利用者也売店に行って選べるような方法を検討してほしいとの意見があり、職員で検討し、現在は希望がある場合利用者也売店に行って買い物をできるようになったことが報告された。 (2) 評価及び意見 ・普段なかなか出かける機会が少ないのでドライブで出かけるのが楽しみ。以前は昭和村村内の行ったことがないところに連れて行ってもらえたことがあり良かった。できればこれからも続けてもらいたい。 →ドライブについては、1か月に1回位は出かけられるように取り組んでいるが、猛暑や冬の寒さが厳しいときなど実施できていない月もある。出かける場所等探すのに苦労しているが、今後なるべく出かける機会は作っていききたい。 ・食事はお年寄り向きで柔らかめで、おいしく食べられている。 ・家でお風呂に入るのは大変。お風呂に入れるので助かっている。 - 入浴だけでも利用できるとありがたい。 →制度上は入浴のみでの利用はできないことになっているが、希望を聞きながら柔軟に対応していきたい。 ・要支援1は週1回、要支援2は週2回となっているが、できればもう1回利用したい。 →要支援1の方は週1回、要支援2の方は週2回というのは制度の中で決められているのではなく、利用回数の目安として設定さ

	れていて、そのことを元に介護報酬が決められている。その為、多くの事業所がその方針で対応している。中には回数を増やす場合は全額自己負担で対応している事業所もある。当事業所もそうしたことを踏まえ、要支援1は週1回、要支援2は週2回と決めて対応している。 ・退院したばかりで動くのが大変なので、体が慣れ動けるようになるまでの少しの間だけお風呂に入りたいとの相談が時々ある。介護保険の認定を受けていない場合は、対応できるサービスがないので、デイサービスが休みの時などに、そうした対応ができるといいのではないか。 →現時点で、デイサービスでの対応は難しい。社協で行っている事業の中でも対応できるサービスはない。こうした課題があることを共有。 4. その他 ・運営推進会議は年2回開催。次回は12月から1月頃に開催予定。
備 考	特になし